



読み聞かせの秋

園長 立石 晃子

木々の葉が少しずつ色味を帯びてきました。毎朝の登園の中で、子供たちが気に入った葉をもって登園する姿が多く見られるようになりました。1年間の中間地点である10月、雨の心配がない中で運動会や散歩、遠足と園外での活動を行うことができました。特に運動会は3年振りの全学年での実施となり、保護者の皆様からのたくさんの声援とご協力の下、子供たちは楽しみ、力を発揮することが出来ました。アンケートには「見ごたえがありました。」「これこれ！やっぱりこうでなくちゃ！と思いました。」「より子供たちの成長が感じられました。」「来年の運動会も楽しみです。」といった感想をいただきました。ありがとうございました。

ある日のこと、担任の先生がお子様インタビューをしている場面を見かけました。もうすぐ誕生会とのことでのインタビューだったようです。担任の先生に「好きな絵本は何？」と聞かれ、そのお子様は「『ともだちや』！」(作：内田麟太郎 絵：降矢なな/偕成社)と即答していました。「そうだね、お部屋で読んだものね。」と担任の先生は嬉しそうにメモをしていました。好きな絵本を即答できる、その姿を嬉しく思いました。(そして、読み聞かせをしていた本を好きになってもらえるなんて、担任冥利に尽きます。)

東京大学とポプラ社では共同研究「『子どもと絵本・本に関する研究』プロジェクト『令和の子どもと絵本・本環境』」の調査を行い、調査から見てきたこととして、「読書が子どものリテラシーや非認知能力を高める可能性が示唆された一方で、読書時間と比べてスクリーンタイムがとても長い」ということを挙げています。読書、スクリーン視聴、活動的遊び、創造的遊び、学習勉強といった活動の中で、読書時間の長さのみが、リテラシー(読んだり書いたりする能力)と非認知能力(積極性や粘り強さといった数値化できない能力)の双方にポジティブな影響を及ぼしている可能性があるとのこと。読書時間については、過半数の幼児は、一日の読書時間が平均10分以下、スクリーンタイム(テレビ・タブレット・スマートフォン等のデバイスの視聴時間)は平日でも平均2時間程度とのことでした。読書時間の確保とともに、スクリーンタイムについては内容や視聴方法について考えなくてはなりません。

そして、「テレビを視聴するのは異なり、幼児が絵本・本と触れ合うには、親子で絵を楽しんだり年長者が文字を声に出して子供に向けて語ることが必要になる」とまとめられていました。せっかくならば、幼児も大人や年長者も楽しめる「読む機会」づくりをしたいものです。

今月、園では毎日の読み聞かせや週末の絵本貸し出しに加えて、汐入小学校図書委員や職業体験の児童による読み聞かせ、年長組は汐入小学校図書館利用も行い、子供たちの「読む機会」をつくっています。「読書の秋」でもあります。秋の夜長、ご家庭でもお子様と一緒に絵本に親しむ時間をぜひつくっていただけたら嬉しいです。

楽しいこといっぱい！子どもたちの園生活

< 3 歳もも組 >

どんぐりいっぱいみつけた！

運動会が終わり、11月となりました。みんなでリズムを踊ったり、元気に返事をしてかけっこをしたりと、運動会を初めて経験できたことが、心も体も大きく成長したように思えます。また、今年は全学年で行えたことで、他学年の競技を見て応援しようとする姿や、他学年のリズムに興味をもち、「おんがくをかけて」と教師に頼み、繰り返し踊ることを楽しむ姿も見られました。また、年中・年長組の保育室にお邪魔して、「何をしているかな！？」と遊びに積極的に入れてもらおうとする姿も見られ、異年齢との交流が多くなりました。

先日は瑞光橋公園へ散歩に行き、一列に並んで歩いたり、手を上げて横断歩道を渡ったりしました。色付いた落ち葉や石、どんぐりにも出会い、秋を満喫してきました。次は足立区生物園へ遠足です。安全に気を付けながら、楽しい遠足になるようにします。

< 4 歳たんぼぼ組 >

小さい秋みつけた！

運動会後は年長児に鳴子を貸してもらい、「ソイヤ！」を真似て張りきって踊ったり、障害物走の跳び箱や鉄棒にチャレンジしてみたりと、「すごい！」「かっこいい！」「やってみたい！」と思った気持ちを経験することができ、どの子も楽しそうな様子がありました。体を動かすことが楽しくなってきた子供たちです。年少組や年長組との交流もたくさんしていきます。また、体を動かすことが心地よいこの季節に、簡単なルールのある鬼ごっこなどを楽しめるようにしていきます。

園庭から見える木々の葉の色が変わってきていることに気付いた子、登園中に落ちているどんぐりを拾ってくる子と“小さい秋見つけた”という姿がいっぱい見られます。深まりゆく秋への変化を楽しみつつ、自然物を取り入れた遊びも経験していきます。

冬野菜の栽培、焼き芋会、観劇会と“芸術”“食欲”の秋もたくさん感じていきます。

< 5 歳ばら組 >

頑張ったことが、大きな力に！「変身した？」

運動会までの取り組みで、みんなで様々ことを考えたり、思ったことを言葉にして伝え合ったり、話し合ったり、力を合わせたり、気持ちを一つにしたり、たくさんの経験をしたばら組の子供たち。運動会の2日前には、「あと練習したり、確認したりした方がいいことはあるかな？」との問い掛けに、子供たちから「もっと踊りがピッとそろった方がいいと思う」という声が上がリ、「このポーズのところ！」「声ももっと出した方がいいよね」「もう1回やってみようよ！」などと、自分たちで課題や目標を決めてやろうとしている姿に、担任は驚かされました。そんな運動会を超え、一人ひとりの様子がグッと変わってきました。「この間できなかったのにすごいね」「なんか、変身しちゃったみたいだね」などと、友達の変化やいいところにも気付くようになりました。頑張ったという達成感や、自信がこれほど大きな力になるのだと実感しています。

11月は、さらに深く友達との話合いができるよう、グループ活動の機会を多くつくり、相手の意見を聞いたり、受け入れたり、もっと話し合ったりする場面を支えています。